

# ゼロアップセンター アンビアン便り 6月 2010年

徒然なるままに……

6月にならんとする今朝、コートを被りながらパソコンに向かっています。5月の連休時は真夏のように暑い日々だったのに…地球システム、エネルギー変化ポイントの時代を感じます。

宇宙はフラクタル(どの微小部分にも全体と同様の形が現れる自己相似性がある)で、宇宙>地球>自然界・社会・人類>人(body,mind,spirit)=体調、人生・運&不運などの現象にも繋がっているようです。科学(医学を含む)とスピリチュアルの融合時代の夜明け前で、変化の真っ只中です。その極々一部しか“アンビアン便り”でお伝えできないのがもどかしいです。

そんな思いで今回は、『宇宙生命三都物語』・「量子水学説」高尾征治工学博士著者＝九州大学大学院化学工学部門定年退職、現在も技術・情報・研究で国内外で活動されています＝の著書から、興味深く、比較的身近な不思議現象の科学的解明を一部とりあげてみます。

「量子水学説」“宇宙と生命の神秘を科学的に解明”については、現代科学を一変させる深い内容ですので、興味をおもちの方は本をお読み下さい。発行所：Eco・クリエイティブ税込み3300円

これまで、科学は主として物質世界だけを科学する対象としてきた。しかし20世紀末から量子力学の登場などにより、その矛盾がほころび始め、もはや物質科学だけではエネルギー収支が合わないことが色々な分野で噴出している。哲学的に精神世界をも取り込む必要がある。～意識エネルギー(波動=氣)は、精神世界と物質世界の双方の情報のエネルギー交換に寄与している。その情報エネルギー交換には、水が絡む自然に起きる原子転換が関わっている。～

## 『スプーン曲げから宇宙が見える』

### 1、原子転換による発熱と吸熱 ーたかがスプーン曲げ、されどスプーン曲げー

ある日、テレビで超能力者がスプーン曲げの実演を呼びかけて、博士も家族でやってみると、奥様が大成功したのにビックリしたそうです。右脳の感性が豊で受け入れ状態にいるか、頭で考え、意識をシャットダウンしているかの違いだそうです。子供のように素直にワクワクやってみるのがコツですね。

また、私も何度か遭遇しましたが、曲がるだけではなく、渦巻きのようにクルクルねじれたり、ポキッと折れたりします。スプーンが切断した時の超高压の電子顕微鏡写真が猪俣修二著書『超常現象に絶対法則があった』に掲載されており、切断部が超高温状態と超低温状態が同時

に存在するとの事です。

スプーン曲げのメカニズムは、発熱で膨張し、低温で収縮し、それが共存するとポキッと折れるという事です。発熱にしる、吸熱にしる原子転換が起きているのです。

## 2、物質世界(実空間)と 精神世界(虚空間)は情報エネルギーを交換している！

エネルギー情報が向こう側(虚)から、こちら(実)へ相転移してくる時は、物質は発熱的变化します。スプーンがグニャグニャに曲がる場合です。

逆に、こちら(実)から向こう側(虚)の精神世界の方にエネルギー情報を相転移する時は物質世界は吸熱的变化し、冷えます。折れる時は双方向にエネルギーが流れて膨張&収縮です。

植物の種子が発芽する時、発熱します。体温が上昇時は妊娠しやすい時期ですね。

瞑想中の高僧の体温や施術士の手から出るエネルギー温度も上昇します。

他方、死後硬直現象は生体内が常温以下に下がります。霊魂相当重量が意識(情報)を伴った素粒子エネルギーに転換されて、向こう側へエネルギーが相転移(昇天)するのです。

1966年に英・米・独の7人の科学者が死後の体重減データをとり、説明のつかない35グラム前後を霊魂の重量と断定したそうです。<他に、体重の約1/1000<sup>g</sup>という説もあります。>

大分前に、映画にもなったように思います。

※意識波動で手・顔などに金粉が出る -汗が素材のケルブランサイクルに沿う原子転換- 至福の喜びなど精神的高揚状態で、意識が何かの伝達されてくる波動(意識に伝わるある種の感覚)を受け取ることにより、黄金色の人体析出金属粒子が多数観察される場合がある。汗を原材料とする原子転換機構が解明され、微量ながらも金が生成する可能性がオリジナルに示唆された。

最近では身近で頻りに金粉が析出しているのを目にします。たまに『場=フィールド』に降ってくる感じもあります。『リコネクション』のプラクティショナー研修中は私にも『場』にも頻りに目にしました。宇宙のエネルギー・周波数が上がっているのを感じます。あなたも経験されていると思いますが、嬉しい・楽しい・愛&感謝など至福の喜びを感じた時はチェックしてみてね。目にできれば喜びが数倍に！ その時は即、アンビアンにお電話下さいね(^0^)

ゼロアップセンター アンビアン

豊中市向丘2-10-7-202

TEL 06-6854-8810

E-MAIL zero@anbian.jp

ホームページ <http://anbian.jp>